

提供者の皆さん、ありがとうございました。

退院 A君

「サッカーやりたい」

「命をくださったドナー（骨髓提供者）の方に感謝しています。体力をつけて大学でサッカーをしたい」。大学一年生A君（18）は、そう言って元気に退院いたしました。A君は昨年5月に血液の難病にかかり山梨県内の病院で治療をしていましたが、同7月に患者として骨髓バンクに登録。幸運にも、同9月にはHLA型（白血球型）が一致するドナーが見つかりました。A君は「自分が骨髓移植を受けねばならないことを知った時には不安で仕方なかったが、適合ドナーが見つかり、信じられないくらいうれしかった」「僕のように日本のどこかに適合する人が必ずいる。ドナーを待っている患者さんは希望を捨てずに頑張ってください」と励ましのメッセージを送っています。

回復 Bくん

9歳少年も回復順調

川崎市のBくん（9）が再生不良性貧血とわかって入院したのは3年前のことです。その後、小学校2年生の夏休みに体調が急変、急性白血病に病気が進んでおり、今年2月に骨髓バンクを通じHLA型が一致するドナーの方から骨髓移植を受けた。経過は順調であと1、2か月すれば退院できる見込みのBくん。Bくんの両親は、以前に二人とも他の患者のために骨髓を提供したことのあるドナー体験者。今度は逆に、Bくんが移植を受けて回復。「ドナーの人の登録がなければ、息子は助からなかった」と、ドナーの方に心より感謝をし、骨髓バンクの重要性を訴えています。



退院 Cちゃん

「早く運動したい」

急性骨髓性白血病の治療のため茨城県内の病院に入院、今年5月に骨髓バンクを通じ骨髓の提供を受けたCちゃん（9）が元気に退院しました。

父親は「骨髓の提供を必要とする人は大勢いる。バンクを広く知ってもらうために活動し、提供してくれた方へ恩返しをしたい」と話しています。

又「高速道路を救急車で運ばれ、横になったまま救急専用口から入院したこの子が、自分の足で正面玄関から退院できるなんて。骨髓を提供して下さった方が分かるなら、直接うかがってお礼を言いたいくらい」と母親は感謝の気持ちを表しています。ドナーの方に直接お礼が言えない代わりに、骨髓バンクの必要性を知ってもらう活動を続けていくつもりだといいます。

新学期から小学校へ復学するCちゃんは「早く運動がしたい」と今から楽しみにしています。

コーディネート状況
移植数、10月末で62件。



読売 5/18日付け

朝日 7/24日付け

全国大会のお知らせ

早稲田大学大隈講堂 平成5年12月11日(土)

骨髄バンク事業が開始されて2年が経過しようとしています。今年も骨髄バンク推進月間である12月に、これまでの骨髄バンク事業の歩みと課題を整理し、さらに事業を充実させることを目的として「骨髄バンク推進全国大会'93」を開催します。

また、ノンフィクション作家の柳田邦男氏の記念講演もあります。

入場無料となっておりますので、関心をお持ちの方はぜひご出席下さい。

日時 平成5年12月11日(土) 13:00より

(開場 12:30)

会場 早稲田大学大隈講堂

(東京都新宿区西早稲田1-6-1)

JR高田馬場駅よりバス

または地下鉄東西線早稲田駅下車

主なプログラム

- ・骨髄バンク事業経過報告
- ・記念講演「いのちを救う医療」
ノンフィクション作家
柳田邦男 氏
- ・座談会「ドナーから見た骨髄バンク」
出席者 骨髄提供経験者 他



新ポスターの紹介

王さん

**かつとばせ!
愛のホルモン。**

骨髄バンクを応援して下さい。

厚生省・(財)骨髄移植推進財団
お問合せ先 各都道府県または(財)骨髄移植推進財団
☎フリーダイヤル0120-377-465

山下さん

**技あり!
大きな愛。**

骨髄バンクに登録して下さい。

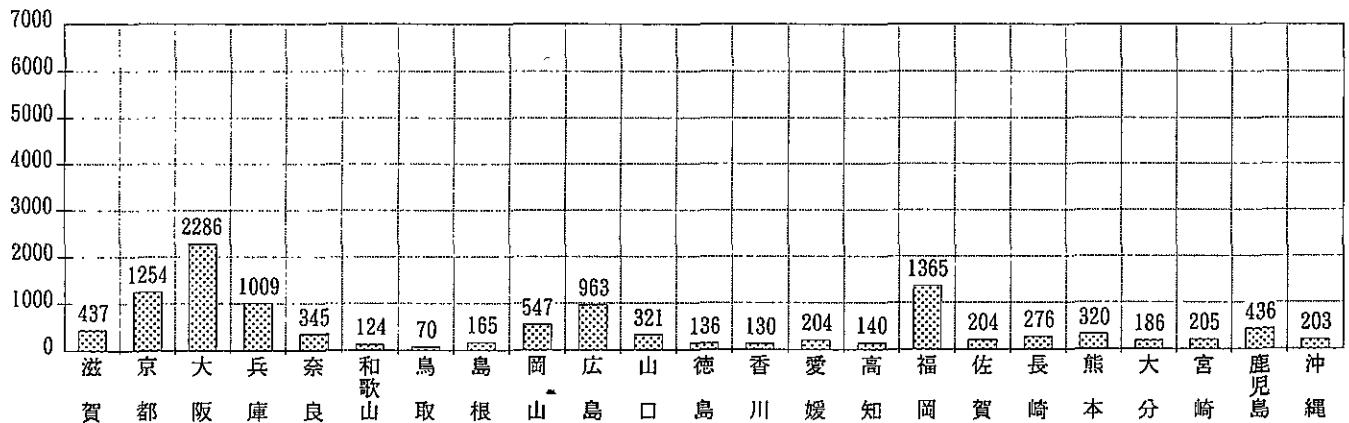
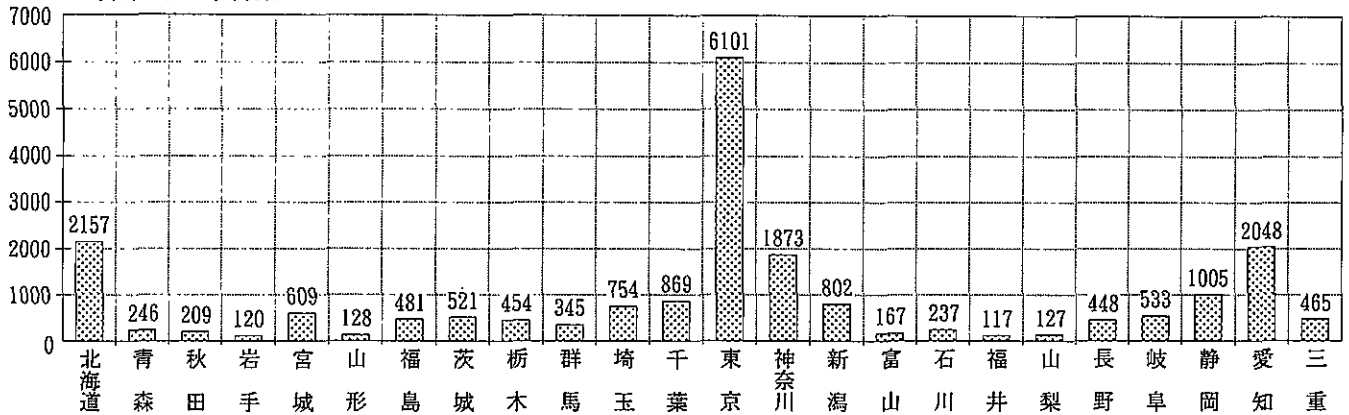
厚生省・(財)骨髄移植推進財団
お問合せ先 各都道府県または(財)骨髄移植推進財団
☎フリーダイヤル0120-377-465

第2回コーディネーター研修会報告

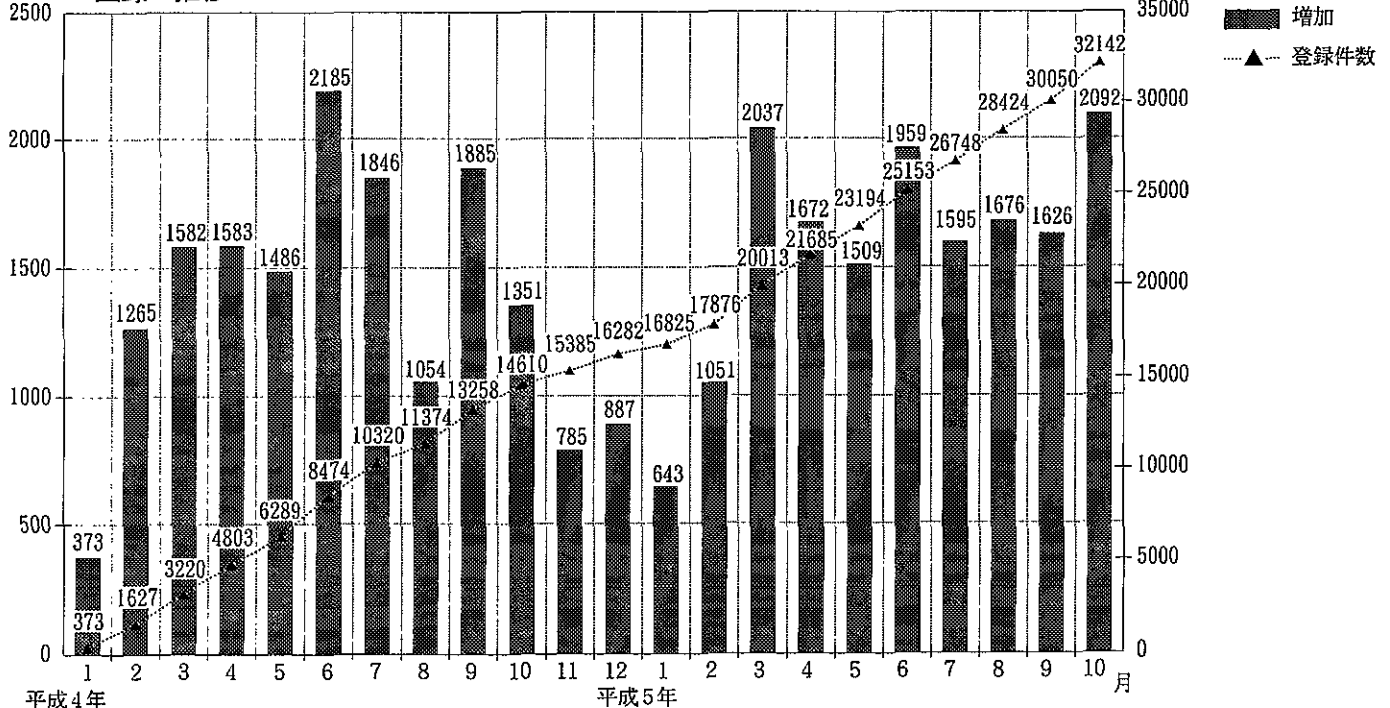
去る8月28日(土)と29日(日)の二日間にわたり、名古屋の地に於て、コーディネーター養成研修会が行われました。骨髄バンク事業が進むにつれて、専任のコーディネーターの養成が急務であり、開催されたものです。第1回目の参加者は50名でしたが、今回は70名となり、熱心な勉強が続けられました。受講生の皆さんのアンケート結果から抜粋しますと、圧倒的にコーディネートの実習が良かったと書いてあり、受講生の皆さんはこれからも研鑽を積まれて、コーディネーターとして骨髄バンク事業に携わって下さる感があり、財団役員一同大変たのしく思いました。

骨髄バンク提供希望者登録状況 (平成5年10月末現在)

人 各県別登録者数



人 登録の推移



事務局だより

骨髄移植推進財団事務局は下記の住所に移転しました。またフリーダイヤルも設置しましたので、ご利用下さい。

(財) 骨髄移植推進財団 新事務局
 〒160 東京都新宿区新宿1-4-8 新宿小川ビル4F
 フリーダイヤル 0120-377-465
 TEL 03-3355-5041 FAX 03-3355-5090

〈心からのご寄付をありがとうございました。〉

当財団設立以来、多くの方々から尊いご寄付をいただき、厚く御礼を申し上げます。

平成4年度の寄付件数は418件、寄付金合計は2億2524万円、また平成5年度は10月末現在で317件、1億293万円のご寄付をいただいております。

皆様からの貴重なご寄付は、骨髄バンクの普及啓発、骨髄移植までの連絡調整、コーディネーターの養成などの事業に有効に活用させていただいております。

なお、今後も活発に骨髄バンク事業を運営していくためには、安定した財政基盤が必要です。引き続き皆様のご支援をお願い致します。

・寄付金受付口座

第一勧業銀行 本店 普通預金

口座番号 4000593

または

郵便振替口座 東京 3-609313

口座名 (財) 骨髄移植推進財団

〈国際協力について〉

日本骨髄バンクでは、国内の患者さんだけでなく、海外在住の患者さんの登録を受け付けています。

国内外を問わず、多くの患者さんに骨髄液が届けられますよう、皆様のご理解とより一層のご支援をお願い致します。

〈編集後記〉

骨髄バンク事業が開始されて2年、新聞でもときどき提供を受けて元気に退院していく患者さんの報道が見られるようになりました。どうしても死亡報道が大きく取り上げられがちな昨今、報道に出られる患者さん、患者さん家族の方々の勇気には頭が下がります。同時に骨髄を提供して下さった勇気あるボランティアの方にも感謝いたします。この様なことが当たり前の世の中になるよう、私たちも努力していきます。

骨髄バンク関連図書案内

書名	著者名	出版社名	内容	値段
生命(いのち)をください ルポ!骨髄移植	遠藤 允	講談社 03(5395)3622	骨髄バンク運動の歴史から骨髄移植及び提供、ドナーのインタビューまで348ページにわたる大作	1,700円
骨髄移植の現場から	野村正満	海鳴社 03(3262)1967	骨髄移植を学ぶフォーラムをまとめたもの	1,700円
骨髄移植	加藤俊一	中外医学社 03(3268)2701	骨髄移植の専門書	3,914円
霧の中の生命(いのち)	大谷貴子	リヨン社 03(3946)0067	白血病を骨髄移植で治し、その闘病記と骨髄バンク運動までの手記	1,400円
金色のくじら	岸川悦子	ひくまの出版 053(592)4798	白血病を骨髄移植で治した子供向き童話 小学校中低学年向き	1,200円
55人に届いた いのちの贈り物	遠藤 允	中日新聞本社 052(221)0509	55人のドナーの赤裸々な体験を網羅した感動の1冊これからドナーになろうとしている方々にはバイブルとなるでしょう	1,500円